

平成27年12月25日

## もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	総務部総務課	氏名	森山 順一
派遣先 団体名	松江市乃木公民館		
<p>地区祭り独特の一体感に、地域を良くしたいという住民の方々の熱い思い。とにかく元気なおじいちゃんたちと会場設営でともに汗を流し、差入れの漬け物を食べながら雑談をする。</p> <p>日頃の業務において県民の方々と接することはほとんどなく、また自治会等にも入っていないため地域社会との繋がりが希薄になる中で、このような、何気ないけど何ものにも代え難い、貴重な経験ができた研修になりました。</p> <p>① 研修の日時 平成27年7月21日(火)～7月24日(金) 8:30～17:15 平成27年7月25日(土) 8:30～22:00</p> <p>② 研修の内容 (1) 公民館の通常業務 毎朝、職員で手分けして行う館内清掃や、各自治会への配布物の仕分け作業等を行いました。</p> <p>(2) 講義 まず、中島館長より公民館の構成・現状・課題についての講義を受けました。</p> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・市から公民館へ業務が移されてきていることに加え、乃木地区は人口16,140人と他地区に比べ大規模であるにも関わらず、基本的にどの公民館も職員数は一定(館長1人、主任1人、主事2人)のため、各職員の業務量が増加している。</li><li>・公民館の大きな役割の一つとして、「自治会の活動を活発化させ、住民同士の絆や、互いに声かけができる環境を作り出す」ということが挙げられるが、その自治会への加入率が低い(55.9%)。新興住宅が多い地区において特にその傾向が顕著である。</li><li>・住民の方々は、「困ったことがあればまずは公民館を訪ねる」というように、公民館は地域における最も身近な施設である。そのため、職員もその地域及び住民を熟知していることを求められるが、数年単位で異動があるため、その都度学び直さなければならない。</li></ul> <p>続いて、地域活動コーディネーターの宇田川さんからその業務内容について説明を受けました。</p>			

松江市内にある36の公民館は、5つのブロックに分けられており、各ブロックに1名の地域活動コーディネーターが配置されています。その主な役割としては、

- ・地域ブロック内の職員の研修
- ・ブロック単位での共同事業の調整・推進
- ・他のブロックとの連携

などがあります。先に挙げた課題にあるとおり、職員に求められる役割・知識が増加してきているため、多方面に渡る研修を実施し、職員の質の向上を図っているとのことでした。

### (3) 乃木ふるさと祭りに向けた準備・会場設営

乃木ふるさと祭りは数多くの団体に関わる乃木公民館最大の行事であり、総勢70名近くで会場設営を行いました。乃木公民館は研修生等の受け入れを積極的に行っており、会場設営にも乃木小学校(2名)及び湖南中学校(1名)の教師の方々に加え、湖南中学校のボランティア26名(昨年から倍増)も参加されたため、スムーズに設営は進みました。ただ、やはり特筆すべきはご高齢の方々のパワフルさ!! 35℃近い気温なんてなんのその。慣れた手つきで作業はあっという間に完了しました。

その後、祭り本番で掲示する会場案内図や、抽選会の看板、景品パネル等を作成しました。

### (4) 乃木ふるさと祭り本番

祭り本番では、会場の監視、ゴミの回収・分別作業を担当しました。

開始前から人が集まりはじめ、イベントが始まる頃には、会場内を移動するのも困難なほど多くの人で賑わいました。

ボランティア参加者も含め、明確に役割分担がなされていたこともあり、特に大きなトラブルもなく無事祭りを終えることができました。

### ③ 研修の感想

研修期間中は祭りの直前期で、また夏休み期間中ということもあり、多くの中学生や住民の方々が公民館に来られたのですが、その皆が、気兼ねなく事務所の中に入り、職員の方々と雑談できるような温かい雰囲気が乃木公民館にはありました。

公民館とは、住民が「つどい」、住民を「つなぐ」場所であるということ、そして研修初日の講義で中島館長が仰った、「公民館は地域の最前線である」ということを肌で感じる事ができた貴重な5日間となりました。

### ④ その他特記事項

中島館長はじめ職員の皆様方には、大変お世話になりました。お忙しい時期にも関わらず温かく迎えてくださり、ありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。